

会計名			夢と学びの科学体験館管理運営事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館		
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館		
3	2	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	地域における子ども・子育て支援							
	目的	夢と学びの科学体験館の適切かつ効率的な運営を図るため、施設の維持及び安全管理を行い、科学の楽しさを体験できる機会を提供する。				主たる内容	○イベント、各種講座等の実施 ○館内施設機能を維持するための各種点検や清掃、保守管理、警備委託等の実施			
		位置づけ	関連計画							
		根拠法令	児童福祉法、児童館ガイドライン							
		対象者	市民		事業期間		平成27年度～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		・サイエンスショーの実施 ・加藤与五郎実験教室の実施 ・科学体験講座の実施 ・簡単工作の実施		・サイエンスショーの実施 ・加藤与五郎実験教室の実施 ・科学体験講座の実施 ・簡単工作の実施		・サイエンスショーの実施 ・加藤与五郎実験教室の実施 ・科学体験講座の実施 ・簡単工作の実施		・サイエンスショーの実施 ・加藤与五郎実験教室の実施 ・科学体験講座の実施 ・簡単工作の実施		
成果		サイエンスショー企画運営業務を委託し実施するとともに、科学体験講座、簡単工作を実施し、多くの子どもたちが科学の楽しさを体験することができた。また、加藤与五郎実験教室を実施し、子どもたちに実験等体験学習を通して「発明発見科学する心」を育てることができた。								
課題		来館者のニーズを捉えることで、科学への興味関心を深める必要がある。また、平日の来館者数が休日に比べ少ないことが課題である。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動指標		開館日数（日）		310		310	309	309	310	
成果指標		来館者数（人）		160,598		155,176	159,816	175,700	193,200	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		47,948	53,939	55,043	61,792	合計	55,042,999 円		
	財源	特定財源	6,316	6,050	6,859	6,815	報償費	24,000 円		
		一般財源	41,632	47,889	48,184	54,977	需用費	19,277,782 円		
	職員人件費 ②		19,182	19,909	20,672	22,012	役務費	187,093 円		
	総事業費（①+②）		67,130	73,848	75,715	83,804	委託料	25,712,274 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		使用料及び賃借料	8,404,490 円	
		7年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料、土地建物貸付収入、実験ラボ参加料、簡単工作参加料		備品購入費	1,427,360 円	
9年度以降の事業費見込		0		負担金、補助及び交付金	10,000 円					

会計名			夢と学びの科学体験館管理運営事業		担当部	次世代育成部
一般会計					担当課	夢と学びの科学体験館
款	項	目			担当係	夢と学びの科学体験館
3	2	5				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	普通	科学技術に関する知識を小中学生を中心とする幅広い世代の市民にわかりやすく伝え、市民と科学の架け橋としての役割を果たしている。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	高い	民間団体の協力や大学との連携により高度な科学的講座を開催する等、効率的で効果の高い運営に努めている。サイエンスショー等の業務委託など専門性の高い事業をより効率的に実施するように努めている。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	「ものづくりのまち刈谷」や理科教育を推進する刈谷を感じてもらえるよう科学体験、サイエンスショーを通して科学の楽しさを体験できる科学を創出することにより、科学への知識を深めてもらうと共に刈谷への興味も持ってもらえるよう努めている。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	来館者に科学体験、サイエンスショー、科学教室等適切なサービスを提供することにより、科学に対する知識・興味を持ってもらい、「ものづくりのまち刈谷」紹介展示を通して、広く知ってもらえるよう多くの来館者を迎えることができる様に努めている。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	科学体験、サイエンスショー、簡単工作など科学に興味を持ってもらえる情報の提供と体験を通して、「ものづくりのまち刈谷」、「理科教育を推進する刈谷」のイメージ作りを今後も図っていく。また、施設の維持管理・運営については事業委託など効率的な運営を行いコストダウンに努める。来館者の多い休日運営を今までどおり進めていくと共に、平日の運営を見直すことにより、学校行事の振替休日による休校日にも子ども達の居場所づくりとしての価値を高める。教育機関、民間団体との連携により、より専門性の高いプログラムの提供を行い、科学への興味、ものづくりへの興味をより多くの子どもたちに持ってもらえるよう努めていく。					

会計名			特別企画展開催事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館		
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館		
3	2	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	地域における子ども・子育て支援							
	目的	科学にまつわる企画展を開催し、子どもたちに広く科学の楽しさにふれる機会を創出することで、次代を担う人材の育成に寄与する。				主たる内容	春、夏、冬の学校等の長期休業中の特別企画として企画展示及びテーマに合わせたプラネタリウム番組の投映を行う。			
		位置づけ	関連計画	刈谷市こども計画						
		根拠法令	児童福祉法							
		対象者	市民		事業期間		平成27年度～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		・まわれ！ぐるぐる展 4月1日～5月8日 16,560人 ・科学ニンジャ学校 7月14日～9月4日 39,511人 ・でんきのふしぎミュージアム 12月15日～2月5日 18,802人 ・超すごくてポンコツなからだのしくみ展 3月15日～3月31日 11,124人		・超すごくてポンコツなからだのしくみ展 4月1日～5月6日 17,395人 ・科学捜査展 7月12日～9月2日 35,721人 ・わんこVSにゃんこ 12月13日～2月3日 17,407人 ・結晶の世界展 3月14日～3月31日 11,015人		・結晶の世界展 4月1日～5月6日 17,165人 ・恐竜センター 7月11日～9月1日 45,617人 ・ふしぎなチカラ★マグネットミュージアム 12月12日～2月2日 18,216人 ・なぜ？なに？天気ふしぎ展 3月13日～3月31日 9,850人		・なぜ？なに？天気ふしぎ展 4月1日～5月6日 ・星に生まれたきせき展 7月10日～8月31日 ・冬の特別企画展 12月11日～2月1日 ・春の特別企画展 3月12日～3月31日		
成果		学校等の長期休業期間に合わせて、企画展の開催及びテーマに合わせたプラネタリウム番組の投映をすることにより、来館者へ科学に触れる機会を提供することができた。								
課題		冬の特別企画展期間中の来館者が少ないため、開催期間等の検討が必要である。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
活動指標		開催日数（日）		142	142	143	143	143		
成果指標		期間中来館者数（人）		85,997	81,538	90,848	99,800	109,700		
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費①		20,613	21,565	22,209	22,500	合計	22,208,729 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	509,069 円		
		一般財源	20,613	21,565	22,209	22,500	委託料	21,699,660 円		
	職員人件費②		7,673	7,964	8,269	8,466				
	総事業費（①+②）		28,286	29,529	30,478	30,966				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			特別企画展開催事業		担当部	次世代育成部
一般会計					担当課	夢と学びの科学体験館
款	項	目			担当係	夢と学びの科学体験館
3	2	5				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	学校の長期休業にあわせ特別展示を行うことにより、子どもたちの科学への興味を高めることができる。また、長期休業中に行うことにより、家族で過ごす時間を創出することもできる。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	期間を限定して開催することにより、来館者を増やすことができ、多くの子どもたちの科学への興味を高めることができる。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	理科教育、科学への興味を子どもの頃から持たせることにより、教育効果を高めることができる。また、特別企画展開催により普段と違うものづくりや科学への興味を持たせることができる。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	長期休業中の子どもたちに居場所を提供することができる。また、家族で過ごせる場を提供することにより、新たに来館するきっかけ作りや再来館を促し、集客につなげることができる。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	学校の長期休業中の子どもたちの居場所としての価値を高めるとともに、教育機関、民間との連携により、専門性の高いプログラムの提供を行い、科学やものづくりへの興味をより多くの子どもたちに高めてもらえるよう努めている。					

会計名			施設管理事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館	
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館	
3	2	6							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	子育て支援						
		施策の内容	地域における子ども・子育て支援						
	目的	交通児童遊園を安全かつ効率的に管理運営することにより、屋外型児童厚生施設として子どもたちに健全な遊びの場を提供し、その健康を増進し、情操を豊かにする。				主たる内容	交通児童遊園の指定管理者に委託し、施設の適正な管理運営を行う。		
		位置づけ							
		関連計画	刈谷市こども計画						
		根拠法令	児童福祉法						
		対象者	市民		事業期間		昭和50年度～		
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他							
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画	
児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営した。		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営した。		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営した。		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営する。			
成果		児童にとって健全な遊び場であり、健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を、安全で効率的に管理運営することができた。							
課題		来園者が多く駐車場が混雑するため、公共交通機関の利用促進を積極的に呼びかけていく必要がある。また、来園者の休憩スペースの確保や日陰の創出、ミストなど既存設備の最適化などの暑熱対策を検討する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
活動指標		交通児童遊園開園日数（日）			279	285	290	290	290
成果指標		交通児童遊園遊具等利用状況（人）			1,316,413	1,347,122	1,290,885	1,418,400	1,560,200
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費①		157,758	179,165	210,650	262,138	合計	210,650,076円	
	財源	特定財源	68,209	67,594	64,246	83,484	役務費	38,479円	
		一般財源	89,549	111,571	146,404	178,654	委託料	207,366,531円	
	職員人件費②		3,069	2,787	2,894	2,540	工事請負費	1,477,300円	
	総事業費（①+②）		160,827	181,952	213,544	264,678	備品購入費	1,767,766円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0		交通児童遊園遊具使用料、行政財産目的外使用料、土地建物賃付収入			
9年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設管理事業	担当部	次世代育成部	
一般会計				担当課	夢と学びの科学体験館	
款	項	目		担当係	夢と学びの科学体験館	
3	2	6				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	年齢や世代を問わず、多くの人に利用してもらえ、家族や友人同士の関係を深めることができる。また、遊具等の体験を通して刈谷への愛着を持つきっかけ作りができる。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	定期的にイベントを開催することで、来園者数を増やすことができ、指定管理に委託することでコストの削減を図る。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	低コストで利用できる遊園地として、市内外で話題性があり、多くの人に利用してもらうことで、刈谷へ訪れる機会を作っている。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	長期休業中の子どもたちに居場所を提供することができる。また、家族で過ごせる場を提供することにより、新たに来館するきっかけ作りや再来園を促し、集客につなげることができる。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	低コストで利用できる遊園地として維持していくことで、市内外の多くの人に利用してもらい、刈谷へ訪れるきっかけ作りを図る。また、夢と学びの科学体験館と連携し、天候に関わらず過ごしやすい施設づくりを目指し、子どもの居場所を創出する。					

会計名			プラネタリウム管理運営事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館	
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館	
3	2	5							
PLANハ計画V	事業概要	総合計画 施策体系	分野	福祉安心					
			基本施策	子育て支援					
			施策の内容	地域における子ども・子育て支援					
		目的	プラネタリウムで星空解説や番組投映等を実施し、子どもたちを中心とした利用者の星や宇宙への関心を高める。				主たる内容	○充実した番組投映の実施 ○プラネタリウムコンサート等のイベントの実施	
	位置づけ	関連計画	刈谷市こども計画						
		根拠法令							
	対象者		市民			事業期間	昭和56年度～		
	実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B事業実績Oハ実施V	事業実績	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画
・一般投映 ・学習投映（幼児園、保育園年長、小学4,6年生） ・プラネタリウムコンサート ・プラネタリウム講演会			・一般投映 ・学習投映（幼児園、保育園年長、小学4,6年生） ・プラネタリウムコンサート ・プラネタリウム講演会		・一般投映 ・学習投映（幼児園、保育園年長、小学4,6年生） ・プラネタリウムコンサート ・プラネタリウム講演会		・一般投映 ・学習投映（幼児園、保育園年長、小学4,6年生） ・プラネタリウムコンサート ・プラネタリウム講演会		
成果			子どもたちの星や宇宙への関心を高めるため、一般投映のほか学習投映や特別投映を行い、市内外の子どもたちをはじめ多くの人に鑑賞してもらうことができた。また、プラネタリウムの特性を活かしたコンサートや講演会を行い、幅広い年齢層の人にプラネタリウム施設を紹介できた。						
課題			多くの人に楽しんでもらえるよう、様々な番組等情報の提供を行うことにより、星や宇宙への興味を高めて来館者の確保に努める。また、平日の観覧者数が増えるよう投映内容等を検討する。						
		指標名称（単位）		実績値			目標値		
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
活動指標		プラネタリウム投映回数（回）			772	732	831	800	800
成果指標		プラネタリウム観覧者数（人）			35,815	33,913	38,629	40,800	44,800
他市との比較検証									
C事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		18,518	100,440	19,537	19,585	合計	19,537,129 円	
	財源	特定財源	5,935	5,621	6,529	6,258	旅費	141,080 円	
		一般財源	12,583	94,819	13,008	13,327	需用費	1,540,543 円	
	職員人件費 ②		21,484	22,298	23,153	23,705	役務費	7,800 円	
	総事業費（①+②）		40,002	122,738	42,690	43,290	委託料	17,807,600 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称		使用料及び賃借料	20,106 円	
		7年度までの累積事業費		0	プラネタリウム使用料		負担金、補助及び交付金	20,000 円	
		9年度以降の事業費見込		0					

会計名			一ツ木児童館管理運営事業				担当部		次世代育成部	
一般会計							担当課		夢と学びの科学体験館	
款	項	目					担当係		夢と学びの科学体験館	
3	2	5								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心										
		基本施策	子育て支援										
		施策の内容	地域における子ども・子育て支援										
		目的	一ツ木児童館を適切に管理運営することにより、健全な遊びを通して児童の健康を増進し情操を豊かにする。		主たる内容	一ツ木児童館の指定管理者に委託し、地域児童館の管理運営を行う。 開設場所 一ツ木福祉センター内							
	位置づけ	関連計画	刈谷市こども計画										
		根拠法令	児童福祉法、児童館ガイドライン										
	対象者	市民		事業期間		平成10年度～							
	実施方法	□直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他											
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績	子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		6年度実績	子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		7年度実績	子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		8年度計画	子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成する。	
			成果	指定管理者として刈谷市社会福祉協議会を指定し、一ツ木児童館の管理運営を行うことにより、健全な遊びを通して子どもたちの健康を増進し、情操を豊かにすることができた。									
課題			児童向けの行事を展開し、魅力的かつ安全な児童館の運営に努める。										
指標名称（単位）			実績値			目標値							
活動指標		一ツ木児童館開館日数（日）		308	308	306	308	308					
成果指標		一ツ木児童館利用者数（人）		15,320	21,466	21,145	23,200	25,500					
他市との比較検証													
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳					
		事業費 ①		9,336	9,132	9,887	9,633	合計	9,887,000 円				
		財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	9,887,000 円				
	一般財源		9,336	9,132	9,887	9,633							
	職員人件費 ②		1,535	1,593	1,654	1,270							
	総事業費（①＋②）		10,871	10,725	11,541	10,903							
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称							
		7年度までの累積事業費		0									
9年度以降の事業費見込		0											

会計名			なののはな児童館管理運営事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館		
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館		
3	2	5								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	地域における子ども・子育て支援							
	目的	なののはな児童館を適切に管理運営することにより、健全な遊びを通して児童の健康を増進し情操を豊かにする。				主たる内容	なののはな児童館の指定管理者に委託し、地域児童館の管理運営を行う。 開設場所 老人デイサービスセンターなののはな2階			
		位置づけ	関連計画	刈谷市こども計画						
		根拠法令	児童福祉法、児童館ガイドライン							
		対象者	市民		事業期間		平成23年度～			
	実施方法	□直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成する。		
成果		指定管理者として医療法人光慈会を指定し、なののはな児童館の管理運営を行うことにより、健全な遊びを通して子どもたちの健康を増進し、情操を豊かにすることができた。								
課題		児童向けの行事を展開し、魅力的かつ安全な児童館の運営に努める。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動指標		なののはな児童館開館日数（日）		286	308	306	308	308		
成果指標		なののはな児童館利用者数（人）		6,458	8,861	9,025	9,900	10,800		
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		5,789	6,430	6,482	7,962	合計	6,481,910 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	6,481,910 円		
		一般財源	5,789	6,430	6,482	7,962				
	職員人件費 ②		1,535	1,593	1,654	1,270				
	総事業費（①＋②）		7,324	8,023	8,136	9,232				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0						
		9年度以降の事業費見込		0						